

※1枚ずつお取りください。

川上校区 公民館だより

第156号

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail: kkawakami@city.saga.lg.jp

川上のアオバスク

令和7年(2025年)7月

佐賀市の人口 225,626人 川上校区の人口 5,753人 川上校区の世帯数 2,267世帯【令和7年5月末現在】



作品名:「大好きな学校」

令和6年度 川上小4年 菊田 鈴さん(下戸田)

公民館主催・共催講座募集のお知らせ

大型スクリーンで見る 宇宙の絶景 「太陽系を旅する」、「銀河系～星の生と死～」を上映します

実際に宇宙を自在に旅することはできませんが、人類は知識と想像力で、宇宙のはてまでも旅することができます。今回の映像「宇宙の絶景」(DVD全2巻)は、宇宙研究を牽引するNASA(アメリカ航空宇宙局)をはじめ、ESA(欧州宇宙機関)やJAXA(宇宙航空研究開発機構)といった世界の宇宙機関が科学の進歩で撮影した貴重な映像や写真は衝撃の連続です。【上映権承認済】

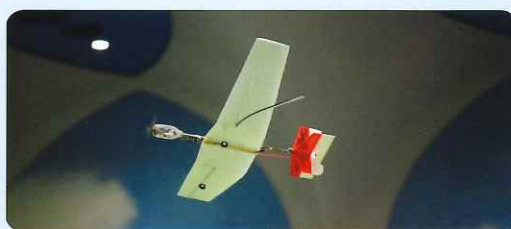
- 1 回目: 令和7年8月08日(金)「太陽系を旅する」
2 回目: 令和7年8月18日(月)「銀河系～星の生と死～」
両日とも: 10:00～11:30

定 員: 80名(先着順) 鑑 賞 料: 無 料
対 象: 小学4年生以上・中学生・高校生・大人まで
場 所: 川上校区公民館 申込締切: 8月4日(月)

※両日とも上映後に佐賀大学「航空研究会・宇宙論グループ」の学生の皆さんが研究している、ラジコン飛行機やモデルロケットの設計・製作について興味あるお話があります。



佐賀大学技術系サークル「航空研究会・宇宙論グループ」は大会上位を目指して活動中



【公民館主催】

「佐賀大学管弦楽団」学生オーケストラ による演奏会を開催します

佐賀大学管弦楽団は、佐賀大学に所属する学生さんを中心に構成されている学生オーケストラです。生演奏の最大の魅力は、その多彩な楽器による豊かな音楽表現です。五感を刺激し、リアルタイムで音楽を体験でき、その場ならではの特別な感動を味わえます。

日 時: 令和7年8月23日(土) 13:30～15:00
場 所: 川上校区公民館 定 員: 50名(先着順)
鑑 賞 料: 無 料 申込締切: 8月18日(月)
演 奏 者: 佐賀大学管弦楽の皆さん
曲 目: 人生のメリーゴーランド、エーデルワイス、星に願いを、
ムーンリバー、歌の翼に、ふるさと、ラルゴ、summer、
さくらさくら、愛の挨拶、他

※曲目は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



【公民館主催】

※詳細については、川上校区公民館(Tel62-5775)に問い合わせ下さい。



楽しく子育て「親と子のミュージックセラピー」を開催します



日 時：令和7年8月7日（木） 10：30～12：00
 場 所：川上校区公民館 参加費：無 料
 定 員：子ども連れ15組（妊婦で個人の参加も歓迎）
 申込締切：8月4日（月）
 講 師：校区在住のシンガーソングライター 吉武愛子氏

※タオルケットを持参してください。

※ステキな歌声に癒されます。親子で楽しめるコンサートです。スキンシップをしながら楽しい時間を過ごしてください。

【公民館・まち協子育て部会との共催】



公民館主催・共催講座等の報告



川上小6年生歴史探検隊 「川上の歴史を知ろう、未来に語り継ごう」



川上小6年生53名が4グループに分かれて川上の歴史を探検しました。（肥前国庁→與止日女神社→実相院→今山古戦場跡→船塚古墳→男女神社→横穴式石室古墳）二日間を午前と午後に分けて佐賀市のマイクロバスを利用した移動です。ガイドは地元ボランティアの皆さんと佐賀市文化財課在籍で校区在住の谷澤仁さんをお願いしました。子どもたちは、ガイドの皆さんの説明を熱心にノートに書き留めるなどして、川上の各地域の歴史について学びました。まちづくり協議会（子育てしやすいまちづくり部会）・ガイドの皆さん二日間に亘って大変お疲れ様でした。

【5月19日（月）・21日（水） 6年生53名・ガイド他27名、総勢80名 公民館・川上小・まち協共催】



佐賀市のマイクロバスで学校を出発です



1300年前（奈良時代）の国庁について学びました



與止日女神社の長い歴史と言い伝えを学びました



川上のアオバズクは健在でした



実相院の長い歴史と仁王門、勅使門について学びました



船塚では前方後円墳の特徴を



男女神社では宮司さんのお話



男女神社から古戦場跡を



1500年前の円墳（横穴式石室）に興味津々でした



1組午前中の班で集合写真

「川上五色まんじゅう日記 その①」プロジェクトチームが立ち上がりました

川上の特産品（イチゴ、スモモ、ブルーベリー、ミカン）と古くから食用として利用されているヨモギを使つての川上五色まんじゅう（五種類）作りを行うために、まんじゅう作りの経験者が集結しました。これから4回程の試作を重ね完成を目指します。

五色饅頭は、今後地域の伝統的な食べ物として、料理教室の開催やレシピの配布をしていくことで地域のメジャーなおやつとして根付かせることを目的としたチームです。また、定期的に五色まんじゅうづくりを料理教室や地域行事などに併せて行っていく予定です。【4月18日（金）】



まずはスケジュールの打合せ



ヨモギを湯がいて保存しました



地元農家の光岡茂幸さんからイチゴを提供していただきました



早速頂いたイチゴで生地に練り込むためのジャム作りです



【公民館・校区社協・一般住民有志・ひろせ菓子店（協力）】

川上校区の課題と取組みについて学習会を開催しました

校区自治会長会を対象に川上校区の課題と取組みについて学習会を開催しました。講師は、当公民館の千住館長です。先ず公民館としての役割、公民館の運営方針、そして校区の課題についてお話ししました。課題解決のために各団体が連携して取り組んでいること、この取り組みが地域の活性化と地域力につながっていることなど、また、人口減少が地域に与える影響など、社会環境の変化に連帯力をもってまちづくりに取り組んでいくことが大事であることをお話ししました。最後に公民館及び各種団体がこれまで取り組んできた活動内容と川上の良さの情報発信をスライドで報告しました。



学習会の様子です

【5月24日（土）参加者：26名 公民館・自治会長会共催】

★★★★★ 今が旬・川上の地域ニュース ★★★★★

「志taiken支援事業パネル展」に川上校区の活動が紹介されました

令和6年度 志taiken支援事業に採択された団体の活動を紹介するパネル展が、佐賀県 男女参画・子ども局 子ども未来課主催（イオン佐賀大和店2階フードコート横）で開催されました。

①川上小で凧作り教室

川上小6年生54名が凧作りに自らが工作道具を使って、凧作りに挑戦することで考える力や好奇心を育む。また、幅広い世代が参加して開催する凧あげ祭りは、参加者同士の交流が図られ、感動を知り、豊かな感受性の発達を促すきっかけとなる。

②大和中生徒が凧あげ祭りにボランティアで参加

凧あげ祭りには、中学生ボランティア6人の参加で運営の体験をしてもらうことで社会貢献を実感し、自らの成長につなげる。

①②の活動の事業効果、成果

（目的）についての活動が紹介されました。



R7年4月1日（火）～R7年4月15日（火）まで15日間展示されました



「今年もやってきました!」七夕の季節



七夕のこの季節がくれば、子どもの頃色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるしてお願い事をしていたのを思い出します。「願い事を笹の葉に飾ると織姫と彦星の力で願いが叶えられ、みんなを悪いものから守ってくれる」という言い伝えがあるそうです。今年も7月2日～16日まで公民館で七夕飾りをします。皆さん短冊にお願い事をしてみてもいいですか。お待ちしております。



佐賀大和川上みかんの花の香りがあたり一面に



初夏を思わせる5月初旬に佐賀大和川上ブランドみかん「あんみつ姫」の小さくて繊細な白花が赤坂山一帯に咲き、甘く濃厚で爽やかな香りがあたり一面に立ち込めていました。収穫は11月に始まり年明けて蔵出しみかんとして、東京市場をはじめ全国の市場に出荷されます。【取材日：5月8日（木）】



今年も新緑がまぶしい初夏の水上山万寿寺を尋ねました（水上地区）



万寿寺は、通称「お不動さん」と呼ばれるお寺で、平安時代の1130年に建立されたといわれています。不動明王をご本尊としたお寺で、鍋島家の祈願寺としても格式が高い寺であったそうです。

周りから見た佇まいから、最近パワースポットとしても脚光を浴び地元はもとより県内外からの参拝客も多く、悩み事を聞いてくれる、商売繁盛が叶うなどの御利益があるといわれています。湧水の流れる音、鳥のさえずり、新緑がまぶしく映え、その静かな佇まいは訪れる人に癒しを与える人気スポットとなっています。また、秋の紅葉も楽しみです。【取材日：5月22日（木） 写真は過年度撮影】



木々の間から日差しが差し込む緑のグラデーションは見事です

ご本尊の不動明王

西山田地区の山本雄二さんのハウスみかん園にお邪魔しました

ハウスの中で育ったみかんは、5月中旬頃に収穫が始まり、大和みかん選果場から東京、大阪の市場に出荷されました。山本雄二さん親子で経営されているハウスみかんは1300㎡で20年生のみかんが150本程植えられています。近年の燃料費の高騰でハウス栽培も大変だとおっしゃっていました。今年の大和みかん選果場には、約32トンの美味しいハウスみかんが生産者から出荷されました。大和町のハウスみかんは、伝承の技術で栽培されることから、独特の風味と品質が特徴で、安定した品質と高い糖度を誇っているそうです。【取材日：5月23日（金）】



ハウスの中でたわわに実ったみかん（糖度12度以上）は、大和みかん選果場より、東京、大阪へと初出荷されました。